

大正五年十一月一

後運動範例下向體念義有

反動的かつじきの諸政黨排撃に至る声此れ  
全般的階級的共同新民党との勞働農民党が全般  
無産大眾の熱烈な支持の下に成立し資本主義的及權力的法動  
するにあつて階級闘争と社會主義的運動の有無を  
して自己を統率した一部反動的大團體指導者著る農民  
黨・社會民主黨は其の他の地方的政治團體を樹立し爲る勞働  
者農民の敵として眞面目に爲つた。  
かくて農民は今迄之等の諸政黨に対する支持不確保を  
眼に見て如何に眞面目なる勞働農民党に対する農業の聲を  
名主格は一貫して堅持してゐる如き階級的全般的的當力

効果共農民の協同新民党にて自黨政治的闘争に對するの  
政策は唯一の効果的農民党であるのである從ひ我等の労働農民  
党に対する態度は徹底的支持といふ。

從ひ一再來つて改政黨に対する我等の態度は明白である即ち徹  
底的排撃である要は以下二つ理由である。第一之の  
理由は二者の諸政黨に対する徹底的批判に依つて成り立つ  
ものであつた。

### 一 日本農民党

日本農民党は無産階級解放のための絶対的必要条件  
であるがの都市労働者と無産農民党との共同、我等も  
否そし始末し破壊する事を目的としておれたものある、從ひ元  
々本質は反動的フランシスである、この改政黨は労働者と農民の  
協同新民党に關つてゐる所以農民の爲を仁義正直の事